学校と家庭・地域を結ぶ学校通信　３８号

しなやか

倉敷市立本荘小学校　　令和８年９月４日



ミシンボランティアさん、お世話になります！（6 年生）









６年生が、家庭科の時間にナップザックづくりを始めました。１学期、５年生がお世話になったミシンボランティアさんに、今回もお世話になっています。６年生は、昨年エプロンを作った経験があるので、今回もなかなか手際よく制作できていました。ボランティアさんたちも６年生の手際の良さに感心されていました。仕上がりが楽しみです。

ノート検定始まります！





９月８日の朝学習の時間に、学力向上担当の先生から、ノート検定についてのお話がありました。日ごろ、ノートがきちんと取れているか見直すためのチェックポイントを５つ示し、学習の定着を高めようと計画しました。検定をするのは、担任の先生のほかに、ほかの学年の先生にお願いすることも計画しています。どの先生が見ても「合格！」と言ってもらえるノートになるといいなと思います。より一層真剣に授業に取り組む姿が見られることと期待しています。

パラアスリート大江選手　９月１０日来校





９月１０日に、ハートフル人権研修会があり、３年生から６年生の児童が、パラアスリートの大江選手のお話を聞きます。大江選手は、倉敷市出身のパラアーチェリー日の代表強化指定選手です。２０代の時に脳出血を発症し、懸命にリハビリをするも右半身に麻痺が残りました。高校時代は、軟式野球部に所属し県大会ベスト４に入った経験もあるスポーツマンでしたから、何かスポーツをしたいと思っているときに、アーチェリーと出会ったそうです。猛練習を重ね、２０２４年にパリパラリンピックに出場、現在は今年１０月に愛知・名古屋で開催されるアジアパラ協議大会の日本代表として、練習をされています。お忙しい中、本荘小学校のために、ご来校くださり、お話をしてくださいます。ささやかですが、応援のメッセージやエールを贈りたいと、計画中です。保護者の方の研修会申し込みの締め切りは過ぎていますが、まだ参加が少ないので、可能な方は、今からでもぜひ参加をご検討ください。日本代表選手の試技を見ることもできます。応援団で活躍する児童もいます。本荘小学校の全力応援を届けたいと思っています。